

開館

30周年

周南市美術博物館 令和7年度プログラム

開館30周年を迎える令和7年度は、以下の2つの展覧会をお届けします。ご期待ください。

周南市美術博物館開館30周年記念

写真展

「オードリー・ヘプバーン」

6月27日(金)～8月31日(日)

オードリー・ヘプバーン(1929～1993)は、映画初主演作「ローマの休日」でアカデミー賞主演女優賞を受賞し、その後も数々の名作映画で主演を務めた20世紀を代表する女優です。その、お茶目な妖精のような美貌はそれまでの女優のイメージを一新しました。晩年は、ユニセフ特別親善大使として精力的に活動。自分らしさを大切にしていた彼女の姿は、今もなお人々を魅了し続けています。本展では、ハリウッドで活躍したフォトグラファーによって撮影された写真をとおして、オードリーの生き生きと輝く姿を紹介します。



©Mark Shaw

周南市美術博物館開館30周年記念

香美市立やなせたかし記念館アンパンマンミュージアム開館30周年記念

「やなせたかし展 人生はよろこばせごっこ」

11月14日(金)～12月28日(日)

アンパンマンの生みの親・やなせたかしの大規模巡回展です。漫画家、詩人、絵本作家、イラストレーター、デザイナー、編集者など多彩な活動を繰り広げたやなせは、極上のエンターテイナーでもあり、「人を喜ばせること」を人生最大の喜びとしていました。その背景には、苛酷な戦争体験、家族との別れ、様々な人との出会いに揉まれ、「なんのために生まれて、なにをして生きるのか」を自身に問い続けた人生があります。2026年に開館30周年を迎えるやなせたかし記念館よりの原画約200点を中心に、やなせ作品の魅力を紐解きます。



「やなせうさぎとアンパンマン」 制作年不明 ©やなせたかし (公財)やなせたかし記念館アンパンマンミュージアム振興財団蔵

※都合により会期、内容等が変更になる場合があります。ご了承ください。

美術博物館ホームページはこちら



第22回 周南市美術展2024

観覧
無料

◆会場 周南市美術博物館 展示室1・2・3

◆会期 前期展覧会〔平面・立体〕2月12日(水)～16日(日)
後期展覧会〔書・写真〕2月19日(水)～23日(日・祝)

9:30～17:00(入場は16:30まで)

※2月12日(水)は、表彰式後10:00から開場



前回の観覧風景

◆問い合わせ先

■運営全般に関すること

周南市文化スポーツ観光部文化振興課(文化振興担当)

〒745-8655 周南市岐山通1丁目1番地 TEL 0834-22-8622 (8:30～17:15 土日祝は休み)

■作品・展示に関すること

周南市美術博物館

〒745-0006 周南市花島町10番16号 TEL 0834-22-8880

(9:30～17:00 月曜休館 ※祝休日の場合は翌日)



詳しくはこちら

※最新情報は、市と美術博物館のホームページでご確認ください。

講演会

第7回周南きさらぎ文化祭 まど・みちお顕彰事業 「童謡を聴いてみる」

2月28日は、まどさんのご命日です。
今年もまどさんの童謡「ぞうさん」、「一ねんせいになつたら」などを聴きながら、その豊かで味わい深い人生を振り返ります。

日時 2/11(火・祝) 14:00～15:00

会場 周南市立徳山駅前図書館3階
交流室1

◆講師 周南市美術博物館館長 有田順一

◆定員 15名【当日先着順】

参加
無料

※詳細は、周南市立徳山駅前図書館
(TEL0834-34-0834)までお問合せください。

まどさんについてのおはなし会

2月28日は、詩人まど・みちおさんのご命日です。
まどさんを偲んで、毎年恒例のおはなし会を開催します。

日時 3月1日(土) 14:00～
(1時間程度)

参加
無料

場所 美術博物館 講座室

講師 山田ルイ氏(神沢利子氏ご長女)

まどさんと神沢利子さんとの交流のエピソードを紹介いたします。まどさんとも親交の深い神沢利子さん(詩人、児童文学者。代表作は『くまの子ウーフ』)のご長女。二十余年の教員生活を退職後、神沢さんの助手役、事務方を務めてこられました。2023年に、神沢さんの白寿記念句集『冬銀河』を企画・編集されています。

定員 40名・先着順

※電話申し込み(周南市美術博物館TEL 0834-22-8880)

2月28日は、
まど・みちおさんの命日です



毎年恒例の「まど・みちおさん ありがとう」缶バッジをプレゼント

きさらぎ文化祭の講演会・おはなし会に参加された方、2月28日にご来館された方(先着50名様)に缶バッジをプレゼントします。

LAWSON

ローソンの
ソフト
クリーム

各205円(税込)

ローソン徳山動物園前店 0834
32-8363

※画像はイメージです。

美博クイズ〜!〈133〉 もんだい

右の絵は、まど・みちおさんの
作品だよ。
なにを使って描かれている
だろう?



「グループ」1962年1月

周南市美術博物館
常設展示

- 常設展観覧料：一般200円(160円) 大学生等100円(80円) ()内は20名以上の団体
 ※18歳以下および70歳以上無料
 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料
 ※まど・みちおさんの命日である2/28は、観覧料無料
- 休館日：月曜日 ※ただし、2/24開館、翌2/25休館

展示室 4 林忠彦記念室

長州路 2/28(金)まで

錦帯橋にはどんな天候が似合うと思いますか。林はこの日、秋で撮影していたところ、あたり一面が雨にけぶるような空模様になりました。「この天気は錦帯橋にピッタリだ」と思い立ち、急遽車で移動し、撮影しました。霧にかすんだ山々、モノトーンで水面に影を落とす錦帯橋。墨絵の様なこの作品は、林のお気に入りの写真の一つです。



錦帯橋<岩国市 錦見>撮影 林忠彦



展示室 5 まど・みちおコーナー

今回の内容の展示は3/30(日)まで

展示ケース内には、まどさんの作品が掲載された幼児雑誌「チャイルドブック」を展示しています。戦後、まどさんは先輩の詩人・与田準一の紹介で編集者となり、雑誌のほか、教科書やスライドの編集を担当しました。編集者のかたわら自身の作品も「チャイルドブック」で発表しています。

* 編集者の名前の中にある、まどさんの本名をさがしてみてください。



徳山の歴史 特設コーナー

「山陽新幹線開通50周年記念 徳山駅のおゆみ」

4/30(水)まで

在来線の他、新幹線も停車する徳山駅。この駅は、1897(明治30)年に山陽鉄道が徳山まで開通したときに始まります。山陽新幹線は今年3月10日に全線開通50周年を迎えます。これを記念して、明治から現在までの徳山駅のうつかりと、新幹線にまつわる資料を展示しています。



第33回林忠彦賞の授賞式を周南市で開催!

受賞者を一緒に
お祝いしませんか

写真の三大賞のひとつ「林忠彦賞」をより広く知っていただけるよう、昨年に引き続き授賞式を、周南市で開催します。

第33回の受賞作品の発表は3月上旬の予定です。今回はどんな作品が選ばれるのでしょうか。どなたでもご参加いただけますので、みなさんにもぜひ一緒にお祝いしていただきたいと思います。

※授賞式の詳細については、決まり次第ホームページ等でお知らせします。 昨年の授賞式の様子



林忠彦賞はこんな賞

—社会は心を撃つ写真をさがしています—

周南市出身の写真家・林忠彦の名を冠した「林忠彦賞」は、林忠彦が「太宰治」「坂口安吾」などの作品で戦後の写真界に颯爽と躍り出た、最もエネルギッシュな時代に照準を合わせ、「社会が求める、その時代を一番象徴する写真を選び出そう」をコンセプトとし、未来を切り開く写真家を見いだす賞です。1991年(平成3)林忠彦のふるさとである周南市と周南市文化振興財団が創設、今回で33回を数えます。

<選考委員(敬称略・五十音順)>

- 大石芳野 写真家 ■ 笠原美智子 長野県立美術館長
- 河野和典 編集者、(公社)日本写真協会出版広報委員 ■ 小林紀晴 写真家
- 有田順一 周南市美術博物館館長



「太宰治」



「坂口安吾」

林忠彦 (1918~1990)



山口県周南市生まれ。代表作「太宰治」「織田作之助」らの作品で認められ、20誌以上の雑誌に発表する売れっ子作家となる。「日本の作家」「カストリ時代」など次々と発表。一方で日本写真家協会の母体となる「写真家集団」発足に参加。秋山庄太郎らと二科会写真部を創設するなど、プロ・アマを越えて写真家の育成にも力を注いだ。

周南市美術博物館 その他の2月の展覧会

9:30~17:00(入館は16:30まで)

観覧無料

- アトリエ陽だまり・グループ万葉会水彩画展 2/28(金)~3/2(日)(最終日は15:00終了)【展示室1・2】

美博クイズ~! <133> こたえ

水彩絵の具、ボールペン、鉛筆を使って、紙に描かれているよ。

光(紫外線)で色があせたり紙が傷んだりしないように、美博の「まど・みちお」コーナーでは照明を暗くして、作品を守っているんだ。

*まどさんのご命日2/28は、常設展を無料で観覧できます。まどさんの作品に会いに来てみませんか。

安全弁、バルブ、整備検査・各種回転機器整備据付
諸機械部品製作

有限会社 山周製作所

山口県周南市御山町9-11
TEL (0834) 31-5726
FAX (0834) 32-8476

ART and HISTORY インフォメーション

周南

周南市美術博物館 ☎0834-22-8880

第22回周南市美術展

(前期)平面・立体 2/12(水)~16(日)
(後期)書・写真 2/19(水)~23(日・祝)アトリエ陽だまり・
グループ万葉会水彩画展
2/28(金)~3/2(日)

周南市郷土美術資料館 ☎0834-62-3119

企画展 遠藤春生絵画展「或る星の下に」
尾崎正章常設展「その軌跡をたどる」
~3/2(日)

防府

毛利博物館 ☎0835-22-0001

企画展「毛利家の雛まつり」
2/7(金)~4/7(月)

山口

山口県立美術館 ☎083-925-7788

第77回 山口県美術展覧会
2/27(木)~3/16(日)

萩

山口県立萩美術館・浦上記念館 ☎0838-24-2400

美人画の四季 ~4/13(日)

萩博物館 ☎0838-25-6447

阿武川歴史民俗資料館開館
(阿武川ダム建設)50周年記念企画展
「ふるさと萩の継承
—阿武川流域の暮らし—」 ~3/2(日)

下関

下関市立美術館 ☎083-245-4131

所蔵品展「香月泰男
ふるさととわが家／新春めでたい動物!」
~2/9(日)特別展「グライズデール・アーツと下関
—ライブパーク／人生という芸術の肖像」
2/15(土)~3/23(日)

下関市立歴史博物館 ☎083-241-1080

企画展「毛利元敏—趣味と郷土を愛した
最後の殿様—」 ~2/9(日)企画展「神と仏の物語—長府寺社巡り—」
2/14(金)~4/13(日)

~ TOSOH PARK 永源山の中にある美術館 ~

周南市郷土美術資料館・尾崎正章記念館

- 9時30分~17時(入館は16時30分まで)
- 観覧料: 一般200円(160円) 学生等100円(80円)
()内は20名以上の団体 ※18歳以下および70歳以上無料
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料
- 休館日: 月曜日 ※2/24は開館、翌2/25は休館



企画展

中・小展示室

3月2日(日)まで開催中

遠藤春生絵画展「或る星の下に」

開会式



1月11日(土)に開会式があり、たくさんの方にお越しいただきました。有田館長が遠藤氏の画家としての道のりや作品世界を紹介。開会式の後は遠藤氏の作品解説もあり、制作エピソードなど興味深い話をお聞きすることができました。

作品解説



宇宙のリズムにそった、人間を始めすべての生き物との共存が遠藤氏のテーマ。卓越した描写力で木の葉や生き物が見事に描き出されています。



水彩画の新作も多数展示。「潮風の詩」(イタリア Fabriano in Watercolor 日本チーム選出作品)の前で解説する遠藤氏。

遠藤春生氏 来館予定日

2月2日(日)・2月16日(日)・3月2日(日)

※いずれも13:00~16:00

常設展【同時開催】

大展示室

尾崎正章常設展「その軌跡をたどる」

尾崎正章(1912~2001)は、ふるさと周南を中心に、人物や港の風景、身近な品々などをモチーフに絵を描きました。

常設展では初期から晩年まで、彼の画業をたどる作品を展示しています。「白い叙情」と評される白を基調とした作品をはじめ、青みを帯びた色調の瀬戸内の風景、花柄模様を背景にした人物など、テーマや画風の移り変わりとともにご覧ください。



展示風景

最新の情報は、当館ホームページでご確認ください。 <http://s-bunka.jp/kyoubi/>

最初で紹介したイベントも、地域にとけこんだ新しい自分試しができるのではないのでしょうか?
文化会館、美術博物館、郷土美術資料館が、そうした機会を提供できる場所になればと思います。
(石川)

そんな中、当財団は周南市とともに学び交流プラザを会場に「プロに学ぶ恵方巻きクッキング」と題し、恵方巻きという催し物を開催します。これは部活動の地域移行事業として行うもので、小学五、六年生と中学生が対象にはなりますが、ホテルサンルート徳山の和食と洋食の料理長から直々に作り方を教わることができ、この企画を聞いたとき、なんと面白い企画!と思いました。学校の先生方の負担を減らすため、中学校の部活をなくし地域に移行すると決まった時、これからの子どもたちは、同級生たちとともに過ごしたクラブ活動を振り返る機会が少なくなるのでは?と寂しく思いました。けれども反対に、早い時期から自分が興味を持ったものを、学校以外の場所から始めるきっかけにもなります。同じ好みを持った様々な年代の人と友人関係になれるかもしれません。

祭などがにぎやかに行われることでしょう。

ミニコラム
ガス燈

2025年もあつという間に一月が終わり、節分を迎えようとしています。今年は二月二日(日)です。日曜日ですが、各所での節分